(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和 3 年 9月 6日　企業･団体名：特定非営利活動法人日高わのわ会

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進･登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制があり、会員や理事の認識が共有されている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント研修を実施している ・ハラスメント相談窓口を設け担当者が対応し、理事長が統括管理する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・「できる人が　できる時間に　できることを」を掲げ実行している働きやすい職場である。半日･時間単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励などを推進し、育児、介護休暇、リハビリ出勤制度などを整えている。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や、受入環境･労働環境の整備を整えていく				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・社員の労働安全衛生を就労規定に明記して、安全衛生上必要な措置を講じ、社員の危険防止と健康の維持増進に努めている。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・メンタルヘルスに関する方針を就業規則に記載し相談窓口を設け担当者が対応し、理事長が統括管理する。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を設け、活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信している。･障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている ・製品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員･パート社員）の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・人間ドック、定期健診等の経費補助を行っている ・コロナ予防接種等公休扱いとして			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。･ウェブ会議を積極的に導入している。 ・対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている ・社内におけるIT人材の育成を進めている ・会議資料やカタログ等の電子化を進めている								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・規格外で廃棄されるトマトを買い取り、選別し加工品として価値を生み、最終的に出た廃棄物を適切に処理している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を毎月の定例会で全員で把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・ごみを出さないように緩衝材、段ボール箱などリサイクルしている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・規模が小さく家庭で使う程度ではあるが、殺虫剤や草殺しは使用料を適切に行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・加工で出る生ごみは、土に返すよう配慮している。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・発送用段ボールはリサイクル製品を使用。 ・資材など受け取った時の物を使用に取り組んでいる。 ・原材料保管のコンテナは再利用している。												12.5		14.1			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している（規格外トマト廃棄ゼロ）												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●								7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	規格外トマトを活用し　食品ロスの削減に取り組んでいる	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・就業規則第3章第15条（服務の基本心得）第16条（服務規律）で周知している																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・就業規則第3章第15条（服務の基本心得）第16条（服務規律）で周知している																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・就業規則第6章第68条（競業避止義務）により規定している。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・就業規則第3章第15条（服務の基本心得）第17条（個人情報及び特定個人情報の保護）で周知。管理については、第88条（教育訓練）教育訓練を指示している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・県版HACCP認証（第2ステージ）を受けて遂行している ・福祉分野は、運営規定を作成サービスの質向上を随時図り安全性を確認している			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・減農薬栽培に取り組んでいる農家からのトマト買取を行い品質の良いもので加工している。 ・運営規定や経営指針など作成し地域に根ざしたサービスの提供を行っている。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・減農薬栽培に取り組んでいる農家からのトマト買取を行い品質の良いもので加工している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	【予定】 ・来年度　新築工事の際は　木質化を進める予定						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・社会課題を解決するための規格外トマトを使った加工品製造販売や地域高齢者のための配食サービス、買い物支援事業、介護保険にかからない人のホームヘルプサービス、一時保育、公共施設の清掃作業等を障害者や地域の主婦が展開している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・社規格外トマトを使った加工品製造販売や地域高齢者のための配食サービス、買い物支援事業、介護保険にかからない人のホームヘルプサービス、一時保育、公共施設の清掃作業等を障害者や地域の主婦が対応している				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・誰もが働きやすい職場を「できる人が　できる時間に　できることを」を合言葉に個人の意見が届きやすい仕組みで　法令についてもその都度話し合い共有を進めている。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営目標は毎月のミーティングで共有し理念は総会をはじめ部長会で共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・社会・環境に及ぼす影響に対応する担当を製造部長が担当し加工部員が対応する仕組みがある。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・高齢者との対話・障害者との対話・商品取引業者様・喫茶のお客様・すべてのステークホルダーにそれぞれの部長が責任者となり対話した内容は部長会に図りその都度把握し対応している。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・個人の意見をいつでも聞く体制があり些細なことでもすぐに対応で知る仕組みになっている。コンプライアンス研修への参加																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・人事評価を行いリスクの特定評価し改善していく。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・定年退職後の職場として対象者の雇用。障害者の一般就労支援。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・防災対策マニュアルに定義し　チェックリストで見直しを行っている。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業継承のための人材を地域おこし協力隊で募集中								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・過去の災害を教訓にその都度新規の上書をしていく防災対策マニュアルを高知県の指導のもと自社で作成している。避難訓練を年4回開催し。災害後の対策も福祉避難所運営等になっている。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・消防計画を作成し、自衛消防隊長・防火管理者を配置している。又、福祉避難所担当職員等の参加等地域の防災力向上に取り組んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・日下小学校の総合学習を地域で担い畑を教室にした「はたけクラブ」を開催している。障害者高齢者と一緒に農作物を栽培していく中で環境問題や人権問題などを含め啓発している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・地域おこし協力隊の受け入れから新法人立ち上げ支援も行い若者の定着を推進している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・日中地域に残る人材ができる時間に働ける場所を提供し誰でも活躍できる地域を目指した取り組みを行っている。								8	9		11						